

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価 担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	情報マネジメント課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2170
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	超高速情報通信網整備事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	すべての市民が情報化の恩恵を享受、実感できる地域情報化を推進するため、これまで超高速情報通信網の整備を行った未整備地区のうち、公設民営方式により、令和 3 年度に整備が完了した男木地区の超高速情報通信網について、適切な管理運営を行う。				
年度概要	男木島の超高速情報通信網等の管理運営。				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	④インフラ・施設等維持管理

【事業の目的】

対象（何を）	超高速情報通信網が未整備のため、超高速インターネットサービスが未提供となっている地域の市民
意図（どのような状態にしたいか）	未提供地域における超高速情報通信網整備による超高速インターネットサービスの提供

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 島しょ部整備率	%	81.1	81.1	81.1	81.1	81.1
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
市域における整備率	%	目標値	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9
		実績値	99.8	99.9	99.9		
成果指標① 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 未整備地域である島しょ部の光ケーブル等の整備に関して情報収集した。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
成果指標② 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔千円〕	12,470	625,970	24,950	18,772
（事業費）	〔千円〕	10,599	618,420	17,466	11,288
（職員人件費）	〔千円〕	1,871	7,550	7,484	7,484

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
公設民営方式で整備した超高速情報通信網のうち、西植田等地域について、当該設備の効率的な管理運営を進めるため、国の「公設光ファイバケーブル及び関連設備の民間移行ガイドライン」に基づく民間移行を行った。また、令和 3 年度に整備が完了した男木地区の設備について、必要となる維持管理を実施したほか、当該設備を活用した地域課題の解決や地域活性化について、国、大学や民間企業等との意見交換や情報収集を行った。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
地域住民や民間企業等による当該設備の利活用が促進されるよう、国や民間企業等から超高速情報通信網の活用事例等の情報収集に努めるほか、当該設備に関するサービスの周知・啓発や適切な管理運営を行う。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	情報マネジメント課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2170
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	情報処理システム管理運営事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の情報システム及び情報インフラを適切に維持・運用する。				
年度概要	本市の情報システム及び情報インフラを適切に維持・運用する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	④インフラ・施設等維持管理

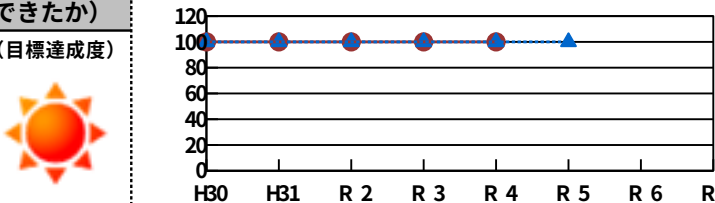
【事業の目的】

対象（何を）	本市の有する情報システム及び情報インフラ				
意図（どのような状態にしたいか）	効率的な情報処理システムの管理・運用				

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 年間のシステム障害（30分以上）対応件数	件	2	2	2	3	3
②						

【事業の成果】

成果指標 ①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	インシデント解決率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
成果指標 ②	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） システム障害等インシデントの発生に対し、迅速かつ適切に対応し、すべて解決した。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
成果指標 ②	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標 ②	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	835,320	796,648	866,338	1,251,828
（事業費）	〔円〕	760,500	736,248	798,982	1,176,988
（職員人件費）	〔円〕	74,820	60,400	67,356	74,840

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 情報インフラや内部情報システム等について、庁内の業務が滞ることがないように適切な運用・維持管理に努め、障害発生時には、迅速に対応し、早期復旧を実現した。また、税制改正等の制度改正に伴う住民情報システムの改修を行った。情報システムや情報インフラは、行財政運営の根幹であることから、今後も適切な運用・維持管理に努める必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 情報システムや情報インフラの適切な運用・維持管理を行うほか、住民情報システム利用課と情報を共有し、税制改正等に対応するシステム改修を行い、本市のシステムやネットワークが円滑かつ安定的に稼働するよう努める。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち		評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立			課(室)名	デジタル戦略課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進			電話番号	087-839-2172
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市	
	事務事業	社会保障・税番号制度推進事業（デジタル戦略課分）		事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	社会保障・税番号制度を効率的かつ円滑に推進し、行政の効率化や市民の利便性向上を図るため、必要なシステム改修を行うとともに、本市における個人番号の更なる独自利用事務やマイナンバーカードの利用拡大について、積極的に検討を行います。				
年度概要	・マイナンバーカードの普及促進 ・マイナンバーカード利用の検討 ・マイナポイントを活用した消費活性化策の周知・啓発等				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	①ソフト事業（法律による実施義務有）	

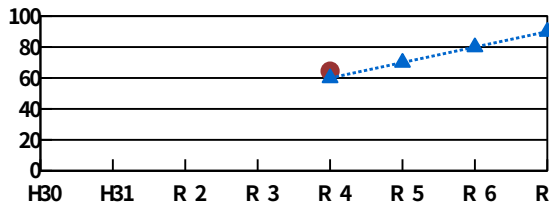
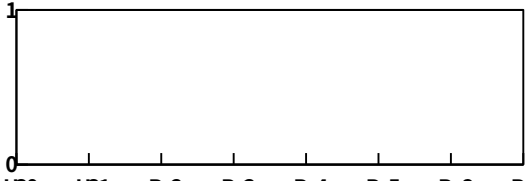
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	マイナンバー制度の円滑な導入・推進を図るため、市民に対し制度の周知・広報を行うほか、マイナンバーカードの空き領域を活用し、本市独自のサービス提供を可能とすることにより、カードの付加価値を高め、普及促進を図るとともに、市民の利便性を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 普及促進キャンペーン年間実施回数	回	8	8	11	9	9
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	マイナンバーカード交付率	%	目標値			60	70	70
			実績値			64.46		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 本庁や市民サービスセンター、総合センターにおいて、デジタルカメラでの写真撮影及び紙申請を行うサービスを実施したほか、企業への出張申請、大型商業施設での出張申請イベントを実施した。マイナポイント第2弾の影響もあったことから申請件数が大幅に増加し、交付率が64%となり目標を達成した。		(目標達成度) 					(達成度) 107.4% 35点
成果指標②	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	77,350	72,327	87,258	41,726
（事業費）	〔円〕	63,882	63,267	78,277	32,745
（職員人件費）	〔円〕	13,468	9,060	8,981	8,981

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 本庁や市民サービスセンター、総合センターにおいて、デジタルカメラでの写真撮影及び紙申請を行うサービスを実施したほか、企業への出張申請、大型商業施設での出張申請イベントを実施した。申請率と交付率に20%程度の開きがある現状である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） マイナポイント付与対象となるマイナンバーカード申請期間が終了したため、申請数が鈍化することが予想される。マイナンバーカードの利便性を発信するほか、未取得者層への働きかけを含めた取得促進策を検討する。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価 担当	局名	市民政策局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	市民課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2287
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	社会保障・税番号制度推進事業（市民課分）		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	社会保障・税番号制度を効率的かつ円滑に推進し、行政の効率化や市民の利便性向上を図るため、必要なシステム改修を行うとともに、本市における個人番号の更なる独自利用事務やマイナンバーカード（個人番号カード）の利用拡大について、積極的に検討を行う。				
年度概要	① 会計年度任用職員人件費 ② マイナンバーカード交付・更新関係				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	個人番号制度の円滑な導入・推進を図るため、市民に対し制度の周知・広報を行うほか、マイナンバーカードの空き領域を活用し、本市独自のサービス提供を可能とすることにより、カードの付加価値を高め、普及促進を図るとともに、市民の利便性を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 普及促進キャンペーン年間実施回数	回	8	8	11	9	9
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	マイナンバーカード交付率	%	目標値			60	70	70
			実績値			64.46		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 県や委託業者と連携し、企業や団体、商業施設等でのイベントで出張申請受付を積極的に行ったほか、国や県のマイナポイント事業の実施により、申請者数が大幅に増加し、目標値を達成した。 (目標達成度) 							(達成度) 107.4% 35点
成果指標②	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔千円〕	259,209	233,010	92,488	102,059
（事業費）	〔千円〕	214,317	180,160	40,100	49,671
（職員人件費）	〔千円〕	44,892	52,850	52,388	52,388

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 昨年度は、企業や団体のほか、出入国管理局での出張申請や委託業者を活用した商業施設での出張申請、県と連携して県内の企業等に出張申請を行う等、新たな取組を実施するなど、マイナンバーカードの普及促進に努めた。今後は、カードの交付手続を円滑に行えるよう、交付体制を強化する必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） マイナンバーカードの普及を図るため、関係課と連携し、引き続き様々な機会を捉えた効果的な広報やキャンペーン等を実施するとともに、企業や団体に向く出張申請受付を継続する。 今後については、増加する申請者や、今後、カードの更新等を求める来庁者に対し、円滑に手続が行えるよう窓口機能の充実や交付体制の強化を図る。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価 担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	デジタル戦略課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2172
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	オープンデータ利活用推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民サービスの拡充や経済の活性化を始め、地域住民やコミュニティ、本市が抱える地域課題の発見・解決につなげるため、本市が保有するデータのオープン化やデータを活用できる人材の育成など、オープンデータの利活用を推進します。				
	オープンデータサイトの運用・保守 オープンデータ利活用人材の育成				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	5-①	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	公開可能なデータ
意図（どのような状態にしたいか）	データのオープン化を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① オープンデータ利活用イベント等の開催回数	回	1	1	1	1	1
②						

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）

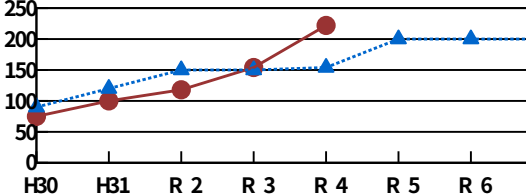
オープンデータ件数

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）
各課が保有するデータや用途地域等の都市計画情報等を追加し、目標を達成することができた。

(目標達成度)



単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
件	目標値	150	150	154	200	200
	実績値	118	154	222		



(達成度)
144.2%
35点

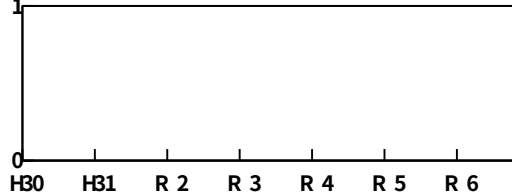
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

(目標達成度)

単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	目標値					
	実績値					



(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	5,453	6,737	7,584	6,642
（事業費）	〔円〕	1,712	2,962	3,842	2,900
（職員人件費）	〔円〕	3,741	3,775	3,742	3,742

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
デジタル田園都市国家構想事業と連携し、都市計画情報等をオープンデータ化し、オープンデータ件数を増加させることができた。オープンデータの活用促進やオープンデータの増加を引き続き推進するとともに、産学官連携により、継続的なデータ利活用人材の育成を行うことにより、より一層データ利活用の促進を図る。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
産学民官の多様な主体によるデータ利活用を促進するため、データを高度に利活用し、課題解決につなげる人材の発掘・育成を行う。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち		評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立			課(室)名	デジタル戦略課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進			電話番号	087-839-2172
	基本事業	電子行政の推進			事業実施主体	市
	事務事業	スマートシティたかまつ推進事業			事業期間	平成 29年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	ICT・データの活用と産学民官の多様な主体が参画する「スマートシティたかまつ推進協議会」との連携により、本市が抱える地域課題の解決を図るため、IoT共通プラットフォームを活用して、様々な分野のデータの収集・分析等を推進します。					
年度概要	システム運用・保守、機器更新協議会・ワーキンググループ等の開催 プログラミングコンテスト開催 デジタルデバイド対策 かがわDXLab負担金					
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-①	事務事業の類型	③インフラ・施設等整備	

【事業の目的】

対象（何を）	共通プラットフォーム
意図（どのような状態にしたいか）	複数分野のデータ収集・分析や新たなサービスの創出

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① スマートシティ推進協議会・WG等の開催件数	件	22	14	12	19	19
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
共通プラットフォームで収集・分析するデータ種別数	件	目標値	8	9	10	11	11
		実績値	9	15	15		
成果指標① 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 防災分野等で新たに収集するデータを増やし、効果的かつ迅速な災害対応に寄与した。 (目標達成度) 							(達成度) 150.0% 35点
成果指標② 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔千円〕	39,841	65,944	702,568	84,894
（事業費）	〔千円〕	24,877	50,844	687,600	69,926
（職員人件費）	〔千円〕	14,964	15,100	14,968	14,968

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
引き続き、産学民官の多様な主体が参画するスマートシティたかまつ推進協議会と連携を図りながら、スマートシティに係る様々な取組を推進し、協議会活性化を図るとともに、「スマートシティたかまつ推進プラン」に基づき、新たな価値創造やデジタルデバイド対策といった各種事業を推進する。また、「フリーアドレスシティたかまつ」に掲げた事業について、国費等の財源も活用しつつ、可能なものから順次、実装に向けて取り組む。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
引き続き、産学民官の多様な主体で構成するスマートシティたかまつ推進協議会と連携しながら、スマートシティたかまつ推進プランに掲げる各種施策等を着実に推進する。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち			評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立				課(室)名	情報マネジメント課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進				電話番号	
	基本事業	電子行政の推進			事業実施主体	市	
	事務事業	自治体D X推進事業（情報マネジメント課分）			事業期間	令和 4年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	行政手続の業務改革や制度の見直しを行い、デジタル技術やデータを活用した行政手続D Xに取り組み、庁内の業務効率化を推進するとともに、住民の利便性向上を目指す。								
年度概要	A I等運用 R P A運用 汎用電子申請フォーム運用								
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-①	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）				

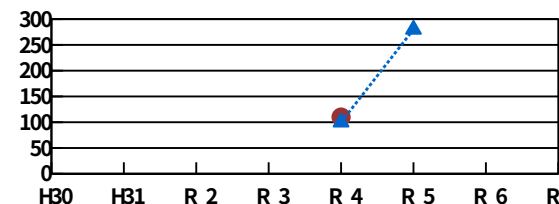
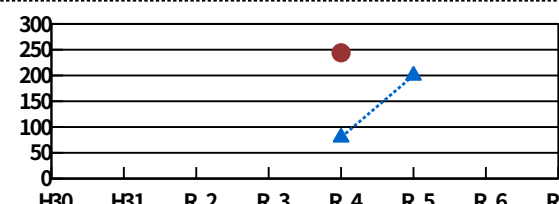
【事業の目的】

対象（何を）	庁内手続き								
意図（どのような状態にしたいか）	D Xし、市民の利便性の向上と業務の効率化を図る								

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① D X人材育成のための研修等開催回数	回			12	5	5
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	行政手続のデジタル化実施件数	件	目標値			100	280	280
			実績値			110		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和 4 年度末のデジタル市役所の掲載件数が、110件と、目標を上回る手続き件数をデジタル化できている。 (目標達成度) 						(達成度) 110.0% 35点	
成果指標②	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	デジタルツールを活用して効率化を図った事務事業数	事業	目標値			80	200	200
			実績値			244		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） RPAやAI-OCR、AI議事録など、様々なツールが各課で利用されており、目標を上回ることができた。 (目標達成度) 						(達成度) 305.0% 35点	

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔千円〕			14,370	18,241
（事業費）	〔千円〕			6,886	10,757
（職員人件費）	〔千円〕			7,484	7,484

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
新たに2業務でR P Aを導入し、活用するなど、事業の実施により、全庁における業務時間の削減に一定の効果が得られた。更に自治体D Xを推進するためには、業務フローの見直しや職員一人一人のI Tスキルの底上げを図る必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
デジタル戦略課と連携し、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、A I等の活用により業務効率化を図り、行政サービスの更なる向上に繋げていく。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち			評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立				課(室)名	デジタル戦略課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進				電話番号	087-839-2172
	基本事業	電子行政の推進				事業実施主体	
	事務事業	自治体D X推進事業（デジタル戦略課分）			事業期間	令和 4年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	行政手続の業務改革や制度の見直しを行い、デジタル技術やデータを活用した行政手続D Xに取り組み、庁内の業務効率化を推進するとともに、住民の利便性向上を目指す。					
年度概要	・D X推進にかかる人材育成 ・行政手続デジタル化促進 ・びったりサービス接続環境整備					
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-①	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	庁内手続き
意図（どのような状態にしたいか）	D Xし、市民の利便性の向上と業務の効率化を図る

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① D X人材育成のための研修等開催回数	回			12	5	5
②						

【事業の成果】

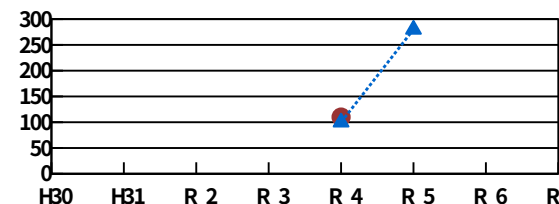
成果指標①

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）
令和4年度末のデジタル市役所の掲載件数が、110件と、目標を上回る手続き件数をデジタル化できている。

(目標達成度)



成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
行政手続のデジタル化実施件数	件	目標値			100	280	280
		実績値			110		



(達成度)

110.0%

35点

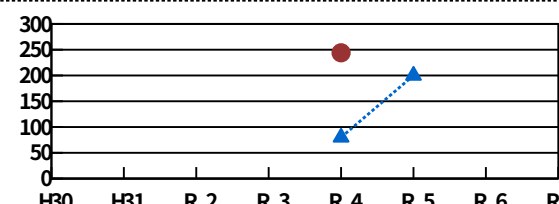
成果指標②

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）
RPAやAI-OCR、AI議事録など、様々なツールが各課で利用されており、目標を上回ることができた。

(目標達成度)



成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
デジタルツールを活用して効率化を図った事務事業数	事業	目標値			80	200	200
		実績値			244		



(達成度)

305.0%

35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔千円〕			7,462	17,780
（事業費）	〔千円〕			2,972	13,290
（職員人件費）	〔千円〕			4,490	4,490

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
幹部職員向け研修を実施することにより市長や幹部職員のD Xに対する認識共有・機運醸成を図ることができた。また、一般職員研修及びL o G oフォームの実務研修を実施することにより現場職員のデジタルリテラシーとスキルセットの向上を図ることができた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
国のシステム標準化方針を踏まえつつ、びったりサービスと各基幹システムを接続し、エンドトゥエンドでオンライン接続を実現するべく、システムの最適化に引き続き取り組む。 D X人材育成研修を継続的に実施し、職員自らが業務をより良いものに変革していくスキルセットの習得を目指す。			